

1 トラック3

2
3 家（賃貸マンション1LDK） 夜

4
5 バイトから数日後、莉良は馴れ馴れしい静寂が来る頃、なんとなく先輩の言葉が
6 引っ掛かり、寝れないでいる

7
8 正面・近

9
10 むむむ…寝れぬ

11 先輩があんな事言うから…

12 んー、パンクは金で買えない……か

13 お金で買えないものって何だろ…

14 正直、お金さえあれば大概のことは解決できると思うんだけどな
15 それに…生き方って…

16 全人類が、自分の好きに生きれるわけないってーの

17
18 先輩によくわからないあだ名をつける莉良

19
20 あの音楽オタのくせっ毛モラトリウム君め

21 今度会ったら髪の毛にひじき詰め込んでやる

22
23
24

25 嫌いではなく、寧ろ…

26
27 ほんと…私のこと…どう思ってたんだろう…

28 どうせ、地味で冴えない、音楽趣味が合うだけの女だって思ってたのかな

29
30 心の靄を払うように、軽くゲームでもするかのように思いつく

31
32 そうだ…

33 こんな夜はマゾで憂さ晴らしに限るねえ♪

34 さてと、DMどうなってるかな…

35
36 DMをひらく莉良。溜まった通知をみて、少しずつ気持ちを昂らせていく

37
38 うっわあ…マゾ媚びの洪水じゃん

39
40 DMをからかい、面白がりながら口に出して読む

41
42 「ギャル様に搾取されたいです♡」

43 「ボロボロにされたいです♡」

44 「ギャル様にお金ぬきぬきされたいです♡」

45 「養分にしてくりゃしゃい♡」

46

47

48

49 DM 相手達のバカさ加減に、皮肉を言いたくなる莉良

50

51 ほんと貢ぎマゾって羨ましいわ

52 欲望に従順で、悩みなんてなさそう

53

54

55 前回住所を晒したマゾのDMに目が止まる

56

57 あっ、前の調教で住所晒したマゾじゃん

58 うへー、何か長文でも

59 えっと何々…

60 「前回住所晒して♡未来様に壊されてえ…♡未来様の事想うとお…仕事してる時もお…電車乗ってる時もお…ちんちんぴくぴくしちゃってますう♡未来しゃましゅきしゅきいって考えちゃうとお…脳みそぴくぴくうって気持ちくなっちゃってえ…生活できませえん♡責任とっつえ♡」

64

65 引き気味で

66

67 いや、知らんしww

68 なんの責任とるのよww

69 まあ…そだな…こいつでいっか…

70

71

72

73 さっそくDMで煽る莉良（以後未来が「」のDMを読み上げる形になります）
74 人を小ばかにしたように煽る

75
76 莉良：えっと…っふふ♡

77 「責任てなにー？♡」

78 「お前が勝手に未来みくのこと想ってえ♡ピックアップさせてるだけじゃん♡」

79 「こうやってえ♡DM送ってきたのも♡」

80 「なんぴかなーww」

81 莉良：っと

82

83 早速返信がくる。莉良は冷静に戦略を練るマーケティングのように、次の言葉を考える

84

85 莉良：はやっ！ハチ公ですかってwwえっと「未来様のせいで生活が壊れはじめてる♡」
86 んー、答えになってないな。

87

88 未来はマゾになぜDMを送ったかを自覚させるために誘導する。

89

90 莉良：それじゃあ…

91 「はっ。」

92 「お前の生活なんて知らねえし♡」

93 「じゃあ♡」

94 「生活崩壊れそうなの解っててえ♡」

95 「じゃっっDMしつくるんだあ♡」

96 「バカなのww」
97 「本当はぁ♡」
98 「脳みそとちんぽ♡」
99 「壊されたくてえ♡」
100 「あの快樂が忘れられなくてえ♡」
101 「煽りポストでムラムラさせて♡」
102 「ちんぽしごきながら♡」
103 「未来様♡未来しゃまあって♡」
104 「ホイホイDMしてきた子♡」
105 「だーれだ♡」
106
107 マゾ「わたしでしゅ♡」。
108
109 莉良：「わたしでしゅ♡」ってちよろww
110
111 ちよろすぎなマゾにさらに追い打ちをかける未来
112
113 「認めちゃった♡」
114 「人間捨てた脳みそドロドロのお猿さん♡」
115 「お札啜えてこっちこい♡」
116 「恋汁ダラダラ垂らしながら媚売りオナニー♡」
117 「ほら…堕ちよ?」
118 「請求♡」
119

120 送金してきたマゾ

121

122 莉良..さっすが未来ちゃん♡マゾの転がし方ばねえwwさてと

123

124 「お金きた♡」

125 「お前は脳みそとちんぽに♡」

126 「びくびくうってきた?♡」

127 「じゃあ♡」

128 「ちんぽしごいて♡」

129 「私の事好きって♡」

130 「1000回想いながら送金できた?」

131

132 「出来ませんでした」とマゾ

133

134 「ダメじゃん♡」

135 「扱きながら♡」

136 「1000回♡」

137 「好きって想って欲しいんだけどお♡」

138

139 「ごめんなさい」とマゾ

140

141 「ごめんなさい?」

142 「そう思ってたんなら」

143 「出来るまで送金♡」

144 「送金♡」
145 「送金♡」
146 「送金♡」
147 「送金♡」
148 「送金♡」
149 「送金♡」
150 「送金♡」
151 「送金♡」
152
153 「出来ました♡」「これヤバイです」「好きすぎ♡」とマゾ
154
155 莉良：うへえ〜。この短時間で1万円溶かして、思考回路がやべえですね。
156 莉良：あっ♡いい事思いついたかも♡
157
158 「好き過ぎ〜」
159 「所有物に好きって言われても」
160 「何とも思わんし？」
161 「脳みそどろどろの猿以下のド底辺の貢ぎマゾになんか特に♡」
162 「それでも私の事好き？」
163
164 「好きです」とマゾ。しめしめと舌なめずりする莉良
165
166 「じゃあ…」
167 「私の事好きなら…」

168	「射精も管理されたいよね？」
169	
170	「射精管理しやれるう♡」と喜びの返信をするマゾ
171	
172	「そんなはしゃぐなしww」
173	「射精管理♡」
174	「マゾはだーい好きっしょ？♡」
175	
176	
177	「大ハオ」とマゾ
178	
179	莉良…よし、乗ってきた。ここからあ…
180	「それじゃあ♡」
181	「君の射精権利♡」
182	「私を取り上げてあげる♡」
183	「これからは♡」
184	「私の許可なしで射精しないこと♡」
185	「我慢できら♡」
186	「リアル♡」
187	
188	
189	
190	
191	

192 「はい♡」と従順なマゾ。そして、間違いなく住んでいる証明をしますとDM。
193 上手く行き過ぎて逆に怖い莉良

194
195 莉良…うわぁ…ほんとマゾって…単純…
196 とりあえずここまでかな…

197 ん？免許証晒します？
198 確かに口頭だと、嘘ついてるって可能性もあるもんね

199 殊勝なことではないか
200 はっはっは

201 つふふ♡どれどれ…
202
203
204

205 事実は小説より奇なりとはこういう事かと冷静に

206 莉良…ってこれ…ひじき頭の音楽オタモラトリウム先輩じゃん…
207

208 落ち込みながら、言い訳を言う莉良
209

210 莉良…どうしょ…でも…もう約束しちゃったし…
211

212 脳みそがやっと追いつきはじめ、先輩マゾ事件を遅れて受け止め始める
213

214 莉良…先輩…マゾだったんだ…
215

216 Radio Headが入っていた事にはっと気が付く
217
218 莉良：あっ！そうか…そっかそっか、それでレディへ、なのか。
219 もしかして…（バレても良いと思ってる？）
220
221 でも、間違ってたら大変なことになるので、慎重になる莉良
222
223 莉良：でも…思い違いだったらいけないし、慎重にいかないと…
224
225
226 莉良はRadio Head/Creepとフラワーカンパニーズ\深夜高速を思い出し
227 注釈：weirdo（変人：莉良） creepy（生理的にキモイ…先輩）
228
229 ウィアード クリーピー
莉良：weirdoとcreepy……
230 莉良見苦しいほど独りぼっち…
231 莉良：生きていてよかった…って
232
233 なんとなく上手くいかない人生だなあとしみじみと
234 引用：フラワーカンパニーズ\深夜高速、ヨルシカ\だから僕は音楽を辞めた
235
236 莉良：そんな夜は…どこだ…
237 莉良：間違っってないだろ…間違っってないよな…間違っってないよね…